

令和3年度事業報告

(令和3年(2021年)4月1日 ～ 令和4年(2022年)3月31日)

I. 概況

当法人は、任意団体「京都花山天文台の将来を考える会」を前身に、株式会社タダノ（代表取締役社長多田野宏一(設立時)）を設立者として、平成31年4月1日に「一般財団法人花山宇宙文化財団」として設立された。当法人の目的は、宇宙と自然に関する学術、研究、教育及び生涯教育の普及に寄与することとし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 天文台、望遠鏡及びその歴史的資料に関する研究、開発及び技術情報の提供
- (2) 研究会、講演会、教育研修、講座、セミナー、各種イベント等当法人の目的に資する企画の運営、開催及び講師派遣
- (3) ベンチャー企業に対する技術情報等の提供及び各種支援
- (4) インキュベーション施設、四次元宇宙シアター、プラネタリウム及び各種研究施設の企画、賃貸、管理及び運営
- (5) 出版物、印刷物及びウェブサイトの企画、制作、発行及び販売
- (6) 各種情報の収集、分析、処理及び提供
- (7) 宿泊施設、駐車施設及び飲食店の企画、管理及び運営
- (8) 物品販売業
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

設立3年目となり財団運営は安定してきた一方、新型コロナウイルス感染対策の影響を受けて事業計画実行には大きな支障が生じたが、オンラインでの情報発信などを活用して活動を推進した。

具体的事業としては、講演会を6月20日と11月21日にそれぞれ「花山天文台の将来を考える会」総会と参与会に合わせてオンラインで開催、5年目に入った金曜天文講話16回は全てオンラインで実施した。土日公開を見学会・観望会として計画したが、コロナ感染対策による開催期間の縮小と見学可能人数の制限により、計画していた参加人数を大きく下回った。

また世界的シンセサイザー奏者・作曲家である喜多郎氏による花山天文台応援コンサートを2年振りに花山天文台で開催したが、コロナ感染状況に鑑み無観客とし、コンサートの様子をオンラインアーカイブ方式にて発信した。このコンサートの費用はクラウドファンディングによって広く集めた。

新規事業としては、公共交通機関での花山天文台へのアクセスが便利となるよう東山ドライブウェイ上に京阪バスの新バス停を設置し、令和3年9月より運行が開始された。

II. 実施事業の概要

1. 講演会

1) 「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催

開催日 令和3年6月20日 参加者 41名

会場 オンライン開催

講演テーマ・講演者 「起業家の夢・・・宇宙への夢」藤原洋氏

2) 「参与会」に合わせて開催

開催日 令和3年11月21日 参加者 38名

会場 オンライン開催

講演テーマ・講演者 「宇宙から見た京都の大地」尾池和夫氏

2. 金曜天文講話

第1回から第16回まで16回を全てオンライン方式で実施した。

| | 開催日 | 講演テーマ | 講師 | 参加者 |
|------|--------|---------------------------------------|--------|-----|
| 第1回 | 5月7日 | 宇宙の観測400年の歴史と京大岡山せいめい望遠鏡で見える世界 | 長田 哲也 | 60名 |
| 第2回 | 5月21日 | ”面白くない”太陽系の果て | 有松 亘 | 73名 |
| 第3回 | 6月4日 | 日食と太陽コロナ | 一本 潔 | 60名 |
| 第4回 | 6月25日 | せいめい望遠鏡で超新星の正体に迫る | 前田 啓一 | 59名 |
| 第5回 | 7月9日 | 宇宙線 その起源を求めて | 川中 宣太 | 61名 |
| 第6回 | 7月16日 | 宇宙での距離の測り方 | 野上 大作 | 64名 |
| 第7回 | 8月6日 | Blowin' in the Wind: (ブラックホール) 風に吹かれて | 水本 岬希 | 67名 |
| 第8回 | 8月20日 | 太陽活動と地球 | 浅井 歩 | 64名 |
| 第9回 | 10月8日 | 歴史書に残るオーロラの記録と過去の太陽活動 | 磯部 洋明 | 59名 |
| 第10回 | 10月22日 | せいめい望遠鏡誕生、夢の望遠鏡技術の詳細 | 栗田 光樹夫 | 48名 |

| | | | | |
|------|--------|-----------------------|--------|-----|
| 第11回 | 11月5日 | 大学望遠鏡を結集せよ | 山中 雅之 | 50名 |
| 第12回 | 11月19日 | 赤外線で見える天の川銀河の真ん中 | 長田 哲也 | 56名 |
| 第13回 | 12月3日 | クエーサー：明るく輝く超巨大ブラックホール | 太田 耕司 | 54名 |
| 第14回 | 12月17日 | 弦理論と宇宙の始まり | 杉本 茂樹 | 62名 |
| 第15回 | 1月7日 | 地球以外にも生命を宿す天体は存在するか？ | 佐々木 貴教 | 62名 |
| 第16回 | 1月21日 | 太陽の脅威とスーパーフレア | 柴田 一成 | 50名 |

3. 刊行物

| | | | | |
|-------|-----|-----------|----|-------|
| 会報第8号 | 発行日 | 令和3年4月10日 | 部数 | 1000部 |
| 会報第9号 | 発行日 | 令和3年9月30日 | 部数 | 1000部 |

4. 花山天文台土日公開

土曜日と日曜日の昼に公開を行い、月1回の土曜日の夜間には観望会を行った。ただし、コロナ感染状況の影響を受け開催時期が限られたことに加え、京都大学のコロナ感染対策ガイドラインに基づいた見学人数に絞ったため、想定した見学人数に比べ参加人数は限られた。

土日公開

実施期間：7月24日から8月1日まで、および10月30日から令和4年1月16日まで、計24日

参加人数：のべ257名

内容；土曜日(太陽スペクトル観望コース、1日3回)

日曜日(4次元デジタル宇宙シアター上映コース、1日3回)

観望会

実施期間：7月17日、11月13日、12月11日

参加人数：のべ47名

5. 花山天文台応援 喜多郎野外コンサート「未来へ」

喜多郎氏による花山天文台応援コンサートを2年振りに花山天文台で実開催したが、コロナ感染状況に鑑み無観客とし、コンサートの様子はアーカイブ配信した。コンサートの開催費用はクラウドファンディングによって集めた。

開催日：令和3年10月16日

会場：京都市山科区北花山大峰町 京都大学花山天文台

共催：京都大学大学院理学研究科附属天文台、一般財団法人花山宇宙文化財団

出演者：喜多郎、Franci(vocal)、鹿嶋静(violin)、祝丸(小鼓)、總本山醍醐寺(声明)

視聴：無観客・オンラインアーカイブ配信方式(10月18日から31日まで)

6. 天文台グッズの販売

1) 直接販売

土日公開など実開催できたイベントや日数が限られ、直接販売する機会も少なくなつたために販売数は限られた。

2) 委託販売

下記法人と委託販売契約を結び販売を継続中。

① 学校法人京都精華大学・京都国際マンガミュージアム

② (株) アクティブケイ・京都大学博物館ショップ“ミュゼップ”

また、京都市京セラ美術館で開館1周年記念展として開催された「モダン建築の京都」に花山天文台が取り上げられ、企画展開催中の令和3年9月25日から12月26日までの期間限定で京セラ美術館と委託販売契約を結び、マグカップ・マグネット・クリアファイル・絵葉書の委託販売を行った。

7. クラウドファンディング

野外コンサートの開催と花山天文台の維持継続、附属天文台支援を目的としてクラウドファンディングを実施し、総額454万円が集まった。

タイトル：「宇宙×音楽」の挑戦。天文台から音楽という波動を届けたい。

プラットフォーム：THE KYOTO crowdfunding

種類：実行確約 (All in) 型

期間：令和3年9月8日から10月15日 23:59 (コンサート前日) まで

集まった資金：4,540,000円(手数料除いて3,685,900円)

8. バス停新設

令和3年9月に新バス停の工事が京阪バスにより行われ、9月25日から天文台最寄の新バス停「花山天文台・阿含」の運用を開始した。ただし、コロナ禍による緊急事態宣言のため実際のバス運行は10月からとなった。新バス停から徒歩10分程度で天文台へのアクセスが可能となった。

新バス停設置のための道路側溝改修工事の費用として、令和2年度に実施した国内版クラウドファンディングで集めた資金の一部を京阪バスへの寄付として提供した。

バス停名称：花山天文台・阿含（東山ドライブウェイ上）

バス運行日：土日祝日。令和3年11月と令和4年3月最終週のみ毎日。

バス時刻表：土日の9時から17時の間、概ね1時間に1本。三条京阪～花山天文台・阿含間の乗車時間は約10分。

Ⅲ. 評議員および役員等に関する事項（令和4年3月31日現在）

評議員・理事・監事・事務局長

| 役職 | 氏名 | 肩書 | 就任年月日 |
|--------------|-------|---|-----------|
| 評議員 | 稲盛豊実 | 公益財団法人稲盛財団 元専務理事 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 佐藤文隆 | 京都大学 名誉教授 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 (設立者) | 多田野宏一 | 株式会社 タダノ 代表取締役会長 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 長田哲也 | 京都大学 教授 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 藤原洋 | 株式会社 ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 松本紘 | 国立研究開発法人理化学研究所 理事長 公益財団法人国際高等研究所 所長、 京都大学 元総長 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 村山昇作 | 一般社団法人 天体望遠鏡博物館 代表理事、 株式会社 iPS ポータル元代表取締役会長 | 平成31年4月1日 |
| 評議員 | 冷泉為人 | 公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 理事長 京都美術工芸大学 元学長 | 平成31年4月1日 |

| | | | |
|------------------|------|--|------------|
| 理事長 (代表理事) | 柴田一成 | 同志社大学特別客員教授 京都大学 名誉教授 | 令和3年6月8日 |
| 常務理事 (業務執行理事) | 北川聡一 | 株式会社 文化工学研究所 専務取締役 | 令和3年12月16日 |
| 理事 | 位高光司 | 株式会社 KI 経営研究所 代表取締役、 京都経営者協会 元会長、 日新電機株式会社 元会長 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 尾池和夫 | 静岡県立大学 学長兼理事長、 京都大学 元総長 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 岡村勝 | 株式会社 ヒーロー 代表取締役 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 荻野司 | 合同会社 ゼロワン研究所 代表 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 西亨 | 株式会社 阪南コーポレーション 執行役員副社長 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 野上大作 | 京都大学 准教授 | 令和3年6月8日 |
| 理事 | 松田和典 | M・G マーケティング研究所 所長 | 令和3年6月8日 |
| 監事 | 向井苑生 | 京都情報大学院大学 教授 | 令和元年11月25日 |
| 監事 | 吉田晴夫 | 住友銀行 元四国法人部次長 | 平成31年4月1日 |
| 事務局長 | 石井貴子 | 京都大学研究員 | 令和3年6月8日 |

参与

| 役職 | 氏名 | 肩書 | 就任年月日 |
|------|-------|----------------------------|----------|
| 特別参与 | 山極壽一 | 総合地球環境学研究所 所長、 京都大学 前総長 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 大野照文 | 三重県立博物館 元館長、 京都大学名誉教授 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 岡崎甚幸 | 武庫川女子大学教授、 京都大学名誉教授 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 小崎哲哉 | 京都芸術大学大学院教授 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 喜多郎 | 音楽家 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 小山勝二 | 京都大学名誉教授 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 笹岡隆甫 | 未生流笹岡家元 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 鈴鹿可奈子 | 株式会社 聖護院八ッ橋総本店 専務取締役 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 竹宮恵子 | 漫画家、 元京都精華大学学長 | 令和3年6月8日 |

| | | | |
|----|--------|------------------------------|----------|
| 参与 | 田原博明 | 京都府人事委員会委員長、 元京都府教育委員会教育長 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 津田真 | 株式会社丹青社 チーフプランニン グディレクター | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 西靖雄 | 弁護士 (花山宇宙文化財団顧問弁護士) | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 長谷川和子 | 株式会社ケアソシエイツ 代表 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 長谷川靖子 | 京都コンピュータ学院 学院長 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 丸川修 | 京都府総合教育センター、 京都府立図書館元館長 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | 山崎直子 | 宇宙飛行士 | 令和3年6月8日 |
| 参与 | わたなべ邦子 | 京都府議会議員 | 令和3年6月8日 |

IV. 職員に関する事項（令和4年3月31日現在）

事務局長 1名、（雇用関係にある）事務局員 1名。

V. 会議・会合

1. 評議員会・理事会

1) 令和3年度第1回理事会開催：令和3年5月29日

第1号議案：令和2年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：令和3年度定時評議員会を招集する件

報告1 クラウドファンディングの実施結果

報告2 花山天文台付近バス停新設の件

報告3 職務執行状況報告（令和3年度第1回）

2) 令和3年度定時評議員会：令和3年6月8日

第1号議案：令和2年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：理事の選任に関する件

3) 令和3年度臨時理事会：令和3年6月8日

(1) 理事長（代表理事）の選定に関する件

(2) 常務理事（業務執行理事）の選定に関する件

(3) 事務局長の任命に関する件

- 4) 令和 3 年度第 2 回理事会開催：令和 3 年 12 月 16 日
第 1 号議案：常務理事の交代について
報告 1. 令和 3 年度事業報告（中間報告）
報告 2. 花山天文台土日公開・観望会実施状況
報告 3. 花山天文台応援・喜多郎野外コンサート「未来へ」実施報告
報告 4. 花山天文台付近バス停新設の件
報告 5. 職務執行状況報告（令和 3 年度第 2 回）

- 5) 令和 3 年度 第 3 回理事会開催：令和 4 年 3 月 17 日
第 1 号議案 令和 4 年度事業計画・予算について
報告 1. 宇宙天気基礎講座の開催
報告 2. 職務執行状況報告（令和 3 年度第 3 回）
報告 3. その他（京都北ロータリークラブからの寄贈）

2. 京都花山天文台の将来を考える会総会：令和 3 年 6 月 20 日
 1. (一財) 花山宇宙文化財団役員等の変更
 2. 令和 2 年度業報告書
 3. クラウドファンディングの実施結果
 4. 花山天文台付近バス停新設の件
 5. 令和 3 年度事業計画

3. 令和 3 年度参与会：令和 3 年 11 月 21 日
 1. 花山宇宙文化財団役員等の変更
 2. 令和 2 年度業報告書
 3. 令和 2 年度のクラウドファンディング実施結果
 4. 花山天文台付近バス停新設の件
 5. 令和 3 年度事業計画
 6. 花山天文台応援・喜多郎野外コンサート「未来へ」実施報告

VI. 会員に関する状況（令和 4 年 2 月 28 日現在）

賛助会員 21 名、一般会員 245 名。

(附属明細書の作成について)

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月
一般財団法人 花山宇宙文化財団

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

法人全体

(単位：円)

| 科目 | 当年度 |
|---------------|-------------|
| I 資産の部 | |
| 1. 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 8,342,991 |
| 商品 | 197,468 |
| 前払費用 | 19,210 |
| 流動資産合計 | 8,559,669 |
| 2. 固定資産 | |
| (1) 基本財産 | |
| 定期預金 | 3,000,000 |
| 基本財産合計 | 3,000,000 |
| (2) その他固定資産 | |
| 敷金 | 42,000 |
| その他固定資産合計 | 42,000 |
| 固定資産合計 | 3,042,000 |
| 資産合計 | 11,601,669 |
| II 負債の部 | |
| 1. 流動負債 | |
| 未払金 | 190,190 |
| 未払法人税等 | 192,900 |
| 預り金 | 41,765 |
| 前受金 | 15,000 |
| 流動負債合計 | 439,855 |
| 負債合計 | 439,855 |
| III 正味財産の部 | |
| 1. 指定正味財産 | |
| 寄付金 | 3,000,000 |
| 指定正味財産合計 | 3,000,000 |
| (うち基本財産への充当額) | (3,000,000) |
| 2. 一般正味財産 | 8,161,814 |
| 正味財産合計 | 11,161,814 |
| 負債及び正味財産合計 | 11,601,669 |

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

法人全体

(単位：円)

| 科目 | 当年度 |
|--------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | |
| 1. 経常増減の部 | |
| (1) 経常収益 | |
| ①受取会費 | 1,220,000 |
| ②事業収益 | |
| 講演会収入 | 17,620 |
| 金曜天文講話収入 | 914,644 |
| 会報収入 | 141,000 |
| 見学料収入 | 518,200 |
| グッズ販売売上 | 280,594 |
| クラウドファンディング | 3,685,900 |
| ③受取寄付金 | 10,093,470 |
| ④財務収益 | |
| 受取利息 | 156 |
| 経常収益計 | 16,871,584 |
| (2) 経常費用 | |
| ①事業費 | |
| 給与手当 | 649,070 |
| 雑給 | 264,000 |
| 派遣人件費 | 562,000 |
| 法定福利費 | 3,868 |
| 福利厚生費 | 80,975 |
| 旅費交通費 | 43,000 |
| 通信費 | 113,030 |
| 消耗品費 | 241,552 |
| 印刷製本費用 | 190,080 |
| 支払手数料 | 12,520 |
| 謝金 | 77,953 |
| 業務委託費 | 2,884,696 |
| バス停工事負担金 | 2,500,000 |
| 雑費 | 141,137 |
| グッズ仕入高 | 69,900 |
| 期首商品棚卸高 | 282,539 |
| 期末商品棚卸高 | △ 197,468 |

| 科目 | 当年度 |
|---------------|------------|
| ②管理費 | |
| 給与手当 | 1,234,500 |
| 法定福利費 | 2,578 |
| 旅費交通費 | 59,530 |
| 通信費 | 52,266 |
| 消耗品費 | 303,828 |
| 地代家賃 | 180,144 |
| 支払手数料 | 11,040 |
| 支払寄付金 | 4,950,000 |
| 諸会費 | 50,000 |
| 支払報酬 | 253,100 |
| 顧問料 | 13,200 |
| 雑費 | 1,375 |
| 經常費用計 | 15,030,413 |
| 当期經常増減額 | 1,841,171 |
| 2. 經常外増減の部 | |
| (1) 經常外収益 | |
| 經常外収益計 | 0 |
| (2) 經常外費用 | |
| 經常外費用計 | 0 |
| 当期經常外増減額 | 0 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 192,900 |
| 当期一般正味財産増減額 | 1,648,271 |
| 一般正味財産期首残高 | 6,513,933 |
| 一般正味財産期末残高 | 8,162,204 |
| II 指定正味財産増減の部 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 3,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 3,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 11,162,204 |

財務諸表に対する注記

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

2. 基本財産の増減額及び残高

| 科目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|------|-----------|-------|-------|-----------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 3,000,000 | 0 | 0 | 3,000,000 |
| 合計 | 3,000,000 | 0 | 0 | 3,000,000 |

3. 基本財産の財源等の内訳

| 科目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) |
|------|-----------|------------------|
| 基本財産 | | |
| 定期預金 | 3,000,000 | (3,000,000) |
| 合計 | 3,000,000 | (3,000,000) |

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

1. 基本財産の明細

| 区分 | 資産の種類 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末帳簿価額 |
|------|-------|-----------|-------|-------|-----------|
| 基本財産 | 定期預金 | 3,000,000 | 0 | 0 | 3,000,000 |
| | 基本財産計 | 3,000,000 | 0 | 0 | 3,000,000 |

2. 引当金の明細

該当事項なし。

監査報告書

一般財団法人 花山宇宙文化財団
理事長 柴田 一成 殿

令和4年5月19日
一般財団法人 花山宇宙文化財団

監事 向井 苑生 
監事 吉田 晴夫 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度(令和3年度)の理事の職務執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局職員等と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事及び事務局職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上